

「市民のねがい」

子どもたちのいじめによる自殺が悪夢のように相次いでいます。夢と希望に胸をふくらませて入学した子どもたちが、学校生活の半ばで自らの命を絶つ、こんなに悲しく残念なことはありません。

人はみな、幸せになるために生まれてきました。

「弱い者」や「ハンディキャップのある者」をいじめの標的にするのは ひきょう者 のすること、人間として大変はずかしいことです。世の中にはいろんな考えや価値観、身体的な違いがあるのが当然で、その違いをお互い認め合い、その違いを長所として評価し、活かしかうことで、豊かな文化や産業が発展してきたのです。



市長 尾市元平
七武元

江戸時代に日本に来た外国人が日本について「人民は貧しいが、品性はすばらしく、世界最高の民族だ」とたたえています。

当時の日本では、小さい頃から「弱い者いじめをするな」「他人のものを盗むな」「悪者は必ず亡び、最後は正しいものが勝つ」ということを、昔話（民話）や神話、仏教などで、しつかりと教えられていたようです。

物が豊かになるにつれ、物を粗末に扱い、善悪よりも損得で行動するようになり、人間として最も大切な人の道、倫理、道徳、しつけ等がおろそかになり、今の状況となっているように思います。

子どもたちを、いじめ自殺に追い込んだのは大人の責任であり、今、大人の生き方が問われているように思います。

いじめ自殺は、子どもたちの命をかけた叫びです。

私たち大人が、子どもたちをどんな人間に育てたいのか「人を育てる教育」「人を幸せにする教育」を学校まかせや他人事とはしないで、地域ぐるみで子どもを守り育てる運動を起こそうではありませんか。

「おとなも子どもも手をつなぎ しあわせの和を広げよう」（七尾市民憲章）

市長へのメール「前略市長さん」(<http://www.city.nanao.jp/shicho/index.html>) では、市民のみなさんからのご提言、ご質問などをお待ちしています。

市長談話室

開催日程

12月26日(火) 15:00〜15:30

会場：中島支所 2階 応接室

※公務により、中止になる場合があります。

子どもからお年寄りまで、どなたでも談話できます。気軽に、市政に対する提言やアイデアをお聞かせください。

お申し込み・お問い合わせは

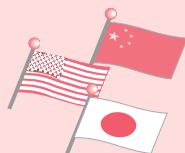
男女参画まちづくり課

53-11112

※お申し込みは1週間前までにお願いたします。また、お申し込み多数の場合は、抽選になります。

国際交流 コラム

「人権」について



ジョエル・クロッツ (アメリカ)

アメリカは、人権を大切にしていく多民族の国です。人権の「人」とは誰のことを表しているかは、時代によって変わってきました。現在の人権問題は、過去と深く関わってきます。

19世紀にヨーロッパ系アメリカ人が西へ移住し、先住民を殺したり、移住させたりしましたが、昔のことは今と関係がないとして、そのことを無視しているアメリカ人が多いです。しかし、人権のことを考えるときに大切なのは、現在の事情だけでなく、歴史について考えることだと思います。

韓松花 (中国)

人権は、人としての当然の権利ですが、ある意味では社会道徳をはかる「秤(はかり)」ではないかと思えます。先日、テレビでいじめを苦に自殺した日本の子ども、のニュースを見ました。いじめ、仲間はずれ、差別問題などは人権問題です。しかし、自殺するまでいじめた人は、法律的な責任を問われていません。

やはり人権には、法律的な保護も必要ですが、社会一人ひとりの心がけがないと、人権を守ることができないでしょう。